

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

愛知県立東海樟風高等学校（愛知県）【指定校】

## &lt;教育利用&gt; ①授業での活用

## 課題研究「ITトレンド」 テーマ「世の中の課題をIT・AIを用いて解決する」

課題研究「ITトレンド」 3年3単位 生徒数13名

## 授業で行ったこと

- ① 企業、IT施設、大学、専門学校などに訪問し、施設見学や講演、体験学習を実施
- ② 地域課題解決、アイデアコンテストへの参加（東海市役所と連携、STREAMチャレンジ）

テーマ 「世の中の課題をIT・AIを用いて解決する」

4～5月 オリエンテーション、AIChallenge教材を使用し、AIについて基礎的な学習を実施

6～7月 大学訪問（名古屋学院大学） 探究学習について（文脈を見る、本質は何か）  
 企業訪問（株式会社N2i） ChatGPTとは何か（仕組み、活用方法、注意事項、プロンプト）



ChatGPTを活用して、地域課題解決をテーマにアイデアソン → クオリティが高くChatGPTの可能性を感じる！

9～10月 東海市役所に訪問し、職員より東海市について、東海市の抱える課題について説明を受ける。

## 提供された課題は5つ

- ①子どもや子育て世代への支援
- ②温室効果ガス削減の取組み
- ③地域運営体制づくり
- ④防災・減災対策
- ⑤自治体DXの推進



市役所での様子

直接、担当者から困りごとを聞き生徒は意欲を燃やす！

ChatGPTを課題解決型学習で積極的に活用をした

# リーディングDXスクール事業【実践事例】

愛知県立東海樟風高等学校（愛知県）【指定校】

## <教育利用> ①授業での活用

### 課題研究「ITトレンド」 テーマ「世の中の課題をIT・AIを用いて解決する」

11月 市職員へ課題解決発表を2度実施。アドバイスを参考にブラッシュアップ、再度発表へ。

ChatGTPだけではなく、BardやBingChatなどを用途によって使い分けて使用したり、生成AIの意見を踏み台にして面白いアイデアを生み出していた。職員の方に好評であり、何より驚いていた。



## アイデアコンテスト（STREAMチャレンジ）



生成AIを活用することで、アイデア出し、論点整理、新たな視点、課題などに気付けた。課題解決学習を効率よく進めることが飛躍的にできるようになった。

## 生徒の感想

ChatGPTを使うときは、**一人でやるのではなく、チームで行った方が気付きが多く新たな視点から論点を議論ができるのでとても良い**

## 課題

- ・生成AIのプロンプトがあいまいであったり、何度も質問を重ねるなどしない生徒もいた。使用方法を習熟させたい。
- ・知識が不足、アイデアが固まっていなくて成果が薄い。ゼロから答えを出してくれるものではなく、補完するものという発想が大切。